



『後漢書』の「有志者事竟成」より
「志有る者、事ついに成る」の意

6年間で伸ばす、自分の個性。

多彩な体験型プログラムをととして

世界や学問を知り、

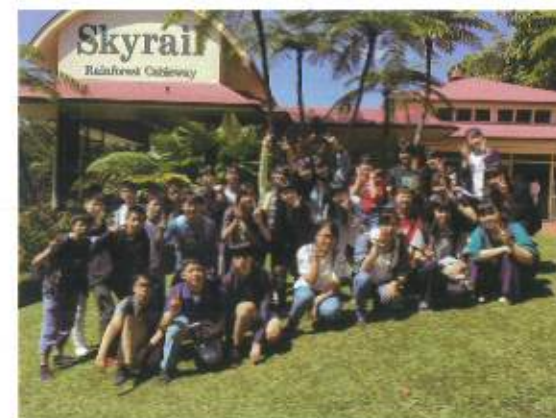
自分の未来を考える。



KAWASE Pick up 1 海外短期派遣研修

本校では、次世代の国際社会で活躍できるグローバル人材の育成を目指し、オーストラリアへの海外短期派遣研修を実施しています。現地の高校との国際交流や異文化理解体験、語学・文化研修などを通じて、国際感覚を磨き、視野を広げる取り組みを行っています。

※2020～2022年は新型コロナウイルス対策のため実施していません。



生きた英語に触れられた貴重な時間



私は中学3年生の時に参加しました。初めての海外だったため、行くまでは不安が付きませんでした。しかしホームステイ先のホストファミリーはゆっくりと分かりやすい英語で話してくれたので毎日楽しく会話をすることができました。シェフのホストファザーが作る食事は最高に美味しかったです。現地の学校ではバディと共に生活します。みんなとても優しくフレンドリーな方ばかりで多くの人とコミュニケーションを取ることができました。この11日間はすごく刺激的で充実した時間でした。皆さんも是非現地に行って生きた英語に触れてみてください。

KAWASE Pick up 2

アカデミックプログラム

本校では、県内外の大学や研究機関における最先端の研究に触れ、幅広い分野の学術的内容に興味・関心を広げることを目指すアカデミックプログラムを実施しています。様々な分野の講師から最先端の学術・研究成果についての講義を聞いたり、実習を行ったりすることを通じ、将来に向けて夢と目標を持ち続けながら、今現在の学習の必要性を知り、自ら学ぶ姿勢を育てます。 ※詳細は4ページに掲載しています。

アカデミックプログラムから学んだこと

アカデミックプログラムでは、大学の先生による英文学の講義、長浜バイオ大学での蛙や魚の解剖、実験、遺伝学の講義、さらには2日間にわたる関西宿泊研修など普段の学校生活では得られない貴重な学びや体験ができます。その中でも関西宿泊研修は学ぶことがたくさんありました。まず、1日目に行った明石海峡大橋ブリッジワールドでは明石海峡大橋の歴史と構造、昔の人々の努力、現状について、2日目に行ったニジゲンノモリでは英語で話すことの大変さ、楽しさ、大切さを実際に見て、聞いて、話して学びました。他の体験も含めて、普段の授業をより深め、自分の将来についての視野を広げるきっかけになりました。



KAWASE Pick up 3

制服リニューアル

令和5年度より、制服のデザインを一新しました。



河瀬の まなび

日々の学習の中で
『学ぶ力』を身につけていく。

教科学習の充実

6年一貫教育の特徴を生かした教育課程のもと、基礎・基本の充実と応用力の養成を図ります。また、中・高の教員が協力して学習指導を行い、接続をスムーズにします。

- ▶ 英語・数学は全学年少人数学習指導
- ▶ 土曜日・日曜日を活用した自習室開放
- ▶ 長期休暇に補充学習や勉強会を実施
- ▶ 朝の小テストと放課後の補習を実施
- ▶ 週31時間の授業による授業時間確保
- ▶ 多くの最先端の研究に触れることでの学習の興味づけ

先取り学習

中高一貫教育校としての特色をより明確なものにするために、中学1年生から高校の学習内容も取り入れ、より深く発展的な授業を行っています。



ICT 機器等を活用した教育の推進

本校では、同窓会の協力も得て、県立学校の中では比較的早い段階からICTを活用した教育活動を充実させてきました。令和6年度から高校が「DXハイスクール事業」に指定されたことによりWi-Fi環境が充実し、教室だけでなく体育館や特別教室棟など、学校内のほとんどの場所でネットワークに接続して学習活動が行えるようになりました。また、中学校のタブレット端末も令和7年の夏からiPadに一新されることとなり、探究型の学習活動やプレゼンテーション、意見や考えを交流する活動などがよりスムーズに行えるようになります。さらに、楽しく学べるプログラミング学習など、新たなデジタル分野の学びを取り入れていく予定をしています。



アカデミックプログラム

—— 今年度 アカデミックプログラムの主な実施内容（予定） ——

- 1年** ◇琵琶湖博物館にてプランクトンの採集・観察、展示の見学を行う。
◇愛知学院大学から講師を招き、言語やコミュニケーションのメカニズムを学ぶ。
- 2年** ◇長浜バイオ大学を訪問し、解剖実習を体験する。
◇大学から講師を招き、ビッグデータの解析をととして社会の問題を解決する手法を学ぶ。
◇明石海峡大橋を訪問し、最先端の建築技術について学ぶ。
◇滋賀県立大学から講師を招き、国際理解、英米文化について学ぶ。
- 3年** ◇滋賀大学から講師を招き、太陽などの天文学を学ぶ。
◇滋賀県立大学を訪問し、施設見学や模擬講座の体験をする。

全学年共通

- ◇数学サイエンスライターの鍵本聡氏を招き、ワークショップをととして数学の楽しさや面白さを体験する。



ディベート

後期の「総合的な学習の時間」では、全学年が「ディベート」に取り組みます。論理的に考え、根拠を明らかにしてわかりやすく伝える力、臨機応変に対応する力、チームで協力してよりよい解を見つけ出す力など、今後生きてくる様々な力を養います。



河瀬での 体験



仲間を知り、地域を知り、
世界を知る。

中1 オリエンテーション

これから6年間で共に学ぶ仲間と協力することの大切さや、思いやりの心を育てていきます。お互いの交流を深めながら、新しい可能性を探し求めていきます。ここから「志成の精神」が芽生えてきます。



仲が深まったオリエンテーション

河瀬中学校では入学してすぐに荒神山でオリエンテーションがあります。友達ができるかどうかとても不安でしたが、いろいろな体験を通して友達と協力することで、仲を深めることができました。そのおかげで今では気が合う人と学校生活を楽しく過ごすことができます。これからの学校生活を仲間と毎日充実させ過ごしたいです。

中2 チャレンジウィーク（職場体験）

5日間の職場体験をとおして、視野を広げるとともに、望ましい勤労観・職業観を身に付けていきます。また、異世代間も含めた幅広いコミュニケーション能力も高めていきます。



飲食店で職場体験

僕は飲食店で職場体験をさせてもらい、そこでは開店準備や接客、調理の補助といった貴重な体験をしました。皿洗い、接客はだんだんと忙しくなり休む暇もなくなります。でも従業員の方たちはお客さんに笑顔で接客することなく仕事をされていて感銘を受けました。ある時お客さんに商品を届けると「ありがとう。」と言ってくださり、それまでの疲れが一気になりました。初めて仕事のやりがい、楽しさに気付いた瞬間でした。これから先僕たちは大人になり働くようになります。職場体験で学んだ「仕事の価値観を自分で見出す」ということを実践したいなと思います。



中3 修学旅行

3年生の10月に、関東方面への修学旅行を実施しています。外国人留学生と一緒に行動する都内特別研修や、三浦半島での民泊体験を通して、国際理解・異文化理解を深めるとともに、東京・神奈川の各地の見学を通して見聞を広めます。また、東京大学の見学などを通して、高校卒業後の進路について考えます。東京ディズニーリゾートでも楽しいひと時を過ごします。



修学旅行での学び「一番の喜び」

私が修学旅行で最も印象に残っているのは民泊体験です。初めは緊張しましたが、温かく迎えていただき、勇気を出して話すうちにすぐに打ち解けることができました。この経験を通して、温かい気持ちで人と接することや、一から相手を知ろうとすることの大切さを学びました。この学びを今後の人生に生かしていきたいです。

また、帰りの新幹線も忘れられません。私は修学旅行実行委員として、この修学旅行が全員にとって最高の思い出となるよう活動し、先生方の意見を参考にしながら工夫を凝らして企画を立てました。そのため、修学旅行中のみんなの楽しそうな姿を見るたび、とてもうれしい気持ちになりました。そして帰りの新幹線で、思い出を共有しあうみんなのはじけるような笑顔を見られたことが、私にとって一番の喜びです。



河瀬の 学校行事

中高合同の学園祭。
仲間と創る、充実した中学生生活。

河瀬中学校の一年（主な学校行事）

4月	入学式 始業式 宿題考査 生徒総会 校外学習(2・3年) 宿泊オリエンテーション(1年) 全国学力学習状況調査(3年)
5月	アカデミックプログラム(全学年) 授業参観・親子講演会・部活動説明会 春季総体・吹奏楽祭 中間考査 PTA総会
6月	学園祭準備 学園祭(体育祭・文化祭) 期末考査
7月	保護者会 終業式 中体連夏季総体 夏季学習会 学力補充講座
8月	海外短期派遣(2・3年希望者) 彦根市総体 始業式 宿題考査
9月	職場体験(2年) 生徒会長選挙 学力推移調査 アカデミックプログラム(全学年)
10月	中間考査 秋季総体 修学旅行(3年)
11月	オープンスクール(公開授業) アカデミックプログラム(全学年) 中体連ブロック駅伝
12月	期末考査 保護者会 終業式 GTEC(2・3年)
1月	始業式 宿題考査 百人一首大会 学力推移調査
2月	学習発表会(ディベート) 学年末考査
3月	球技大会 GTEC(1年) 卒業式 修了式

河瀬中学校の一日

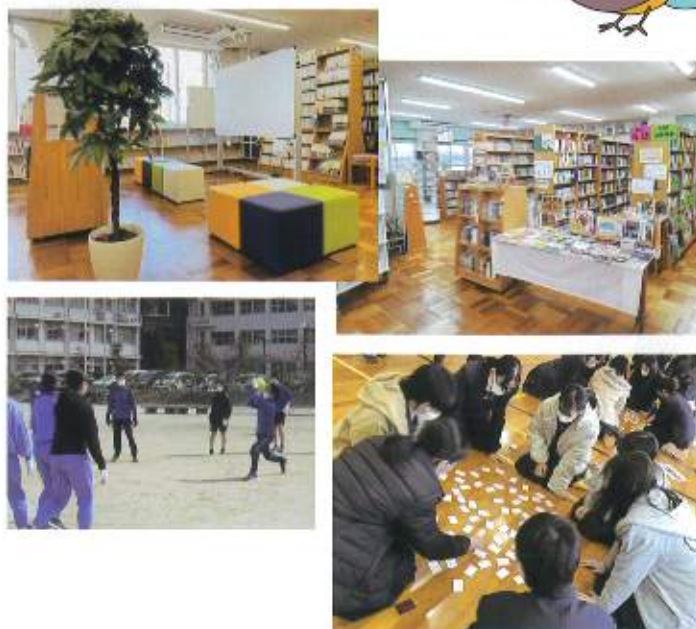
朝の会(無試験)	8:35～ 8:45
第1限	8:55～ 9:45
第2限	9:55～ 10:45
第3限	10:55～ 11:45
第4限	11:55～ 12:45
昼食	12:45～ 13:05
昼休み	13:05～ 13:25
第5限	13:30～ 14:20
第6限	14:30～ 15:20
帰りの会	15:25～ 15:40
清掃	15:40～ 15:50
部活動	～下校時刻

木曜日に、7限授業があります。

下校時刻は、季節によって変動します。

中学2年生以上は、朝読書にかえて朝テストを週3回実施します。

中学1年生も2学期から小テストを行います。



荒人漑(体育祭・文化祭)

本校の「荒人漑」と呼ばれる学園祭(体育祭・文化祭)は、中高合同で行います。中学1年生から高校3年生までの6学年が一致団結して、学園祭を盛り上げます。



青春の1ページ



河瀬では歴史ある荒人漑という学園祭が行われます。荒人漑では中学、高校合同の5つの団で戦います。体育祭には様々な種目がありますが、特に盛り上がるのはクラス対抗リレーです。各クラスから10人が選抜され、他のクラスに負けないよう、朝の登校後や放課後にグラウンドへ集合し、走順の計画を立てたり、何度もバトン練習をしたりして、本番に挑みます。中学生と高校生が一丸となり、たくさんの大きな声援を受けて走る楽しさは、心に深く刻まれます。河瀬では中高一貫校ならではの中学生と高校生の交流があり、お揃いの団Tシャツを着て過ごす荒人漑は大切な思い出の1ページとなります。皆さんも河瀬で一緒に青春しましょう。

文化祭の魅力

1・2年生は「押し本チームバトル」という、チームで本を選びプレゼンをする活動を行いました。決勝戦では、どのチームの発表も観客を楽しませる工夫が盛りだくさんで、笑顔があふれる楽しい時間を過ごせました。3年生は、動画作成を行いました。舞台からストーリーまですべてを一から自分たちで考え、作り出しました。とても大変な作業でしたが、その分、満足のいくものを完成させることが出来ました。さらに昨年度から、学年別での合唱が取り入れられました。ほかの文化祭の取り組みもある中、合間を縫って一生懸命練習したので、大迫力の歌声を全校の前で披露することが出来ました。これらの活動では、高校生に発表を見てもらうなどをモチベーションに、より良い物を目指し頑張ることが出来ました。中高一貫校として、学校全体の交流がより深まった、最高の文化祭でした。



部活動

日々、仲間とともに心と体を鍛える。
部活動で得た力と感動は、一生の宝物。

運動部 (※は中高合同)

陸上競技※ 卓球 剣道※

軟式野球 女子バスケットボール 写真 放送 文芸 E.S.S.

文化部 (全て中高合同)

吹奏楽 美術 科学 書道

主な実績 (2024年度)

【陸上競技部】

◇ 春季総体 女子2・3年 800m 1位
男子共通 400m 5位
女子共通 四種競技 7位

◇ 秋季総体 男子共通 110mH 6位
男子共通 400m 6位
女子共通 800m 1位

【剣道部】

◇ 夏季大会 女子個人 県大会出場

【卓球部】

◇ 秋季総体 個人戦 7位 8位

【写真部】

◇ 第45回滋賀県高等学校総合文化祭写真部門 優秀賞

【書道部】

◇ 第59回 滋賀県硬筆作品展覧会 滋賀県書教育研究会長賞
◇ 第16回 滋賀読売競書大会 栗東市長賞 二席
◇ 読売紙上書道滋賀展
◇ 第52回 JA 共済滋賀県小中学生書道コンクール 佳作
◇ 令和6年度 多賀町主催 豊かな言の葉書道展 最優秀賞 具竹賞 特選



部活動について

僕は卓球部の主将としてチームの目標である「一球入魂」を大切に、日々練習に励んでいます。河瀬中学校の卓球部はほかの学校と比べて練習量が少ないです。少しでも強いチームにするために質を大切にする必要があります。そのために一つにして練習することが僕の課題となりました。しかし、僕は主将としては未熟で、あまりうまくまとめることはできませんでした。ですが、顧問の先生や副部長などと協力し合い、声掛けをすることによって徐々にまとまってくるようになりました。チームの士気も上がっていき、県大会でも戦えるようになりました。チームで一試合一試合勝てるのがとてもうれしく、同時にこのチームで僕は仲間という大きな存在について学ぶことができました。この先どんな壁に直面しようとも諦めずに仲間と協力して乗り越えていきたいと思っています。

吹奏楽部の部長として

私は吹奏楽部の部長として、日々部員と共に活動しています。現部員の9割以上の方が初心者から楽器を始めており、不安なことも多くありますが、一人一人が向上心を持って練習に励んでいます。高校の先輩との合同練習もあり、たくさんのアドバイスをもらってスキルアップにつなげています。毎年恒例の定期演奏会をはじめとする、さまざまなイベントを経験し、楽しく、やりがいのある部活動になっています。

私は部長という立場になり、「自分はみんなを引っ張っていける力があるのだろうか。」というプレッシャーに押しつぶされそうにもなりましたが、仲間に支えられ、自信を持ってみんなの前に立てるようになりました。

これから、うまくいかないことや、思い通りにならないことが出てくるかもしれませんが、不屈の精神で、活気のある部活にしていきたいです。



進路



河瀬中学校では、アカデミックプログラムや進路学習をととして、様々な学問や職業について知り、早くから高校卒業後の進路や自らの将来像について考える機会を用意しています！さらに河瀬高校では、面談や進学補習、個別指導など、進路実現をサポートする体制が充実しています！！

中高一貫校に学んで



河瀬中学高等学校の最大の魅力は、高校での学びに備えたカリキュラムで、中学校での学習ができることだと思います。特に難易度が格段に上がる数学に関しては、中学校から先取り学習をすることで、高校の学習に入ってもスムーズに取り組むことができました。また、アカデミックプログラムでは、様々な分野の学問や職業を実際に体験することで、本当に興味のあること、やってみたいに出会うことができ、自分の進路の道しるべになりました。学校での生活においては、6年間という年月をともに学び、部活動、学習面ともに切磋琢磨し合える貴重な仲間と出会うことができました。ともに頑張れる仲間がいたから、達成できたことはたくさんあったと確信しています。

河瀬中学高等学校には、自分の将来を考えて進路を決めることのできる環境が揃っています。この学校での6年間で様々なことを学び、自分のやりたいことを見つけて下さい。

河瀬中学校での経験



私にとっての6年間は部活動中心の6年間でした。部活を引退した後、自宅では誘惑に負けてしまうため休日にも学校に通い毎日8時間の勉強に取り組みました。当初思い通りに成績が伸びず、同級生がどんどん進路が決まってく中、決まっていなことに不安を感じ、心が折れそうになることもありましたが、私と同じように学校で勉強している同級生の姿や先生方の応援のおかげでなんとか続けることが出来ました。成績は12月、1月になってやっと伸びを実感することができ、結果志望校に合格することができました。ありきたりな言葉ではありますが、諦めない心がいかに大切か実感しました。そしてそれは自分だけの力ではなく、家族、先生方、部活動やクラスの仲間の助けがあってこそでした。

河瀬での出会いに感謝をしながら大学生活を送っていこうと思います。

高校3年卒業時の主な合格状況 (過去5年間)

国立大学		京都工芸繊維大		長野大		私立大		京都看護大	
東北大	1	大阪大	1	富山県立大	4	慶応義塾大	1	京都産業大	193
山形大	2	大阪教育大	3	石川県立大	1	國學院大	1	京都女子大	44
茨城大	1	奈良教育大	1	公立小松大	1	芝浦工業大	1	京都橘大	476
筑波大	2	和歌山大	1	福井県立大	2	東海大	6	京都薬科大	6
埼玉大	2	鳥取大	2	敦賀市立看護大	1	東京農業大	1	同志社大	34
横浜国立大	1	島根大	1	岐阜薬科大	1	東京理科大	6	同志社女子大	31
山梨大	1	岡山県立大	3	名古屋市立大	1	日本大	1	佛教大	176
信州大	1	広島大	2	滋賀県立大	57	法政大	3	立命館大	183
富山大	2	山口大	1	京都府立大	7	明治学院大	1	龍谷大	461
金沢大	1	徳島大	2	京都市立芸術大	1	早稲田大	2	追手門学院大	70
福井大	4	香川大	2	大阪公立大	5	岐阜協立大	18	関西大	37
静岡大	5	高知大	3	奈良県立大	1	岐阜聖徳学園大	20	関西外国語大	43
岐阜大	3	九州大	3	公立鳥取環境大	2	中京大	4	近畿大	51
名古屋大	2	宮崎大	1	岡山県立大	1	豊田工業大	6	摂南大	24
名古屋工業大	4	公立大学		新見公立大	1	名城大	3	桃山学院大	6
三重大	2	公立はこでて未来大		山口県立大	1	聖泉大	33	和洋大	15
滋賀大	31	高崎経済大		下関市立大	1	長浜バイオ大	86	関西学院大	3
滋賀医科大	2	東京都立大		山瀬小野田市立山口東京理科大	1	びわこ学院大	20	神戸学院大	13
京都大	4	新潟県立大		高知県立大	1	大谷大	237	文部科学省所管外の大学校	4
京都教育大	2	山梨県立大				京都外国語大	47	防衛大学	3